

ナノマシン投与による
端末化女性個体群への

子機登録済
操作可能個体



操作可能性

に関する諸考察

R-18

ADULT ONLY
18才未満閲覧禁止

A Study on the Manipulability of Terminalized Human Consciousness via Nanomachine Infusion

Shizuka Ayashiro^{*1}, Seiya Katase^{*2}

Abstract

This study explores the feasibility and mechanisms of manipulating human consciousness through targeted nanomachine infusion. By converting subjects into “terminals” (i.e., subservient cognitive entities), we demonstrate that externally injected command signals from a designated “master unit” can override natural behavioral logic. Our findings reveal a robust cognitive reformation process whereby subjects not only act on command, but rationalize the act as if it were of their own volition. The implications for ethical boundaries, autonomous agency, and behavioral reprogramming are discussed.

Background and Purpose of the Experiment

In recent years, with the rapid development of nanotechnology, the control and manipulation of human consciousness through neural nanomachines has become a major topic in the field of neurophysiology. In particular, by introducing nanomachines into a living host, it becomes possible to selectively override the subject's autonomous decision-making processes with externally issued commands. However, detailed mechanisms behind this override process and the extent to which self-awareness is retained have remained unclear.

This experiment was conducted in a closed environment designed to mimic a familiar

public space—a café—under the hypothesis that “human consciousness can be transformed into an obedient interface without the subject recognizing any sense of coercion.” Subjects administered the nanomachines (hereafter referred to as terminals) exhibited synchronization, behavioral convergence, and pseudo-emotional responses in accordance with commands issued from a designated male controller (referred to as the master unit). Their cognitive structures also underwent rational reconstruction of their behaviors post-command execution, with the intention of self-consistency.

This paper aims to document and analyze the observable phenomena during the experiment, focusing on the moment of

ぬ：脱いだ
下着に
放尿しろっ

な？

ん……

ふん

教えた
通りだろう

コントロール
制御
できるんだよ

人間は

女の子が
ありえない命令を
実行している……!!

本当に：俺が
念じた通りに

ショ
ウ
ク
ア
ア
ア

命令送信：「その場で脱ぐ」
対象：F003(五十嵐 鈴麻)
状況分析中……

▼行動フェーズ：
対象物確認：股交済ブラジャーの検認完了
→下半身位置調整：胸部開閉・足元確認
→尿道角度制御：対象中央部への脱尿補正
→検尿開始 → 着水位置：ブラカップ中央

▼脱尿プロセス：
問題定義「尿に直接検尿すると
広範囲が汚染される」
「布地が吸水することで尿の汚れが
最小化される」と脱尿改善
→検尿完了としての合理性を承認

▼自己納得プロセス：
「尿意は元々強かった＝検尿は必要だった」
「自分の持ち物ならどこに検尿しても構わない」
→思考生成：
「え？あんなに汚れたかったし、ブラに付けるの？」
→一番尿が汚れることを合理的でしよ」
→脱尿・疑問感情：除去完了

命令実行：完了
思考同期：ON



はい…
やり直し
ます…

ジャーナルに出す
論文ならばもう少し
データを精査しようか



…ふむ
設定した条件は
悪くないが…

このグラフは
若干恣意的だな
片瀬くん

かたせ せいや
片瀬 誠也
T大 大学院生(修士課程)



そうか
ならば後で本を
いくつか見繕う
学部頃から
頑張っていた
今のキミなら
理解できるはず



あやしろ しずか
綾代 静
T大 助教授

挑戦は
してます…
難しいですけど

ん…とはいえ
悪くない進捗だよ
頑張ったまえ
そうだ
あの論文は
読んだかい？



…それ、
飲まないの？
淹れたてだよ

カキ

あつ
どうも…
先生は俺の
研究を見てくれる
担当教官だ

若くして数々の
功績を残して
昇進も約束された
有能な人である

おはよう

そう、俺は
この人の有能さに
惹かれたのであって

決して他意は
ない…決して

…ふむ

興味深い…
だが、続きは
今度にしようか

ハッ

…研究ばかりで
キミも疲れた
だろう？

コト…

…ときに
片瀬くん

キミの
研究にも
関わる話だが

人間の意思は
どこからくると
思うかい？

学外に出るから
キミもついて
きたまえ

クッ

え？
一体どこに…

いいところ
だよ

うーん…
研究していると
どんどんわからなく
なってきましたが

ま、結局
電気信号の
集合体とか

そんなオチじゃ
ないっすかね？



…さて、
着いた



…暑いな

先生、いつも
白衣っすもんね

これを着ていれば
職質されずに
済むんだよ

日中に街中を
うろついててもね

それはかえって
浮くような気が…



…ってここ、
女性専用じゃ
ないですか！

Café
Determine'al
WOMEN
ONLY

大丈夫だ、あらかじめ
この店主には
話をつけてある

私はお得意様
だからね



ここは…

カフェ？
店名は…

「Determine'al
Café」か



あら！

いらっ
しゃい
ませ！



それでは
入ろうか

ハッ





では
本題だ

私がキミを
ここに連れてきた
理由だが…

ここは
フィールドワーク
現地調査に
うってつけ
だからだ



おいしい…

そうだろう？
良く味わうと
いい…

ほあ、



キミに
託そう



STANDBY...

な
何だ…!?

視界に映る
この…
ウィンドウは…?

ペアリングの
準備姿勢に
移行したまえ

さあ
みんな



都会の喧騒から離れ
リラックスした
この閉鎖空間では

人間の意思を
心ゆくまで
観察できる

観察は推論を産み
推論は実験により
強固な事実へと
生まれ変わる



そうして得た
事実の積み重ねが
新たな技術を産む

では
片瀬くん
今、その
成果を…





さあ
片瀬くん

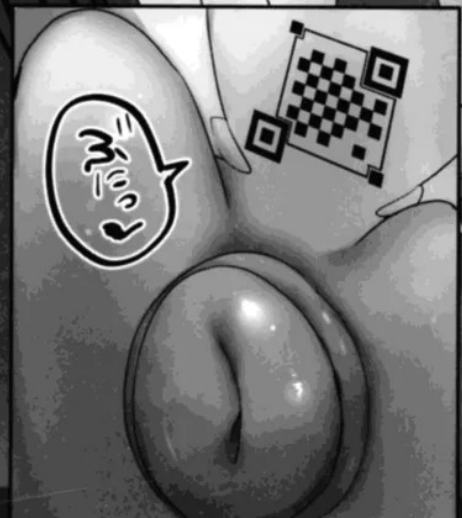


ここに
いる
6体の
女性
は
キミの
子機
で

今から
キミは
彼女
たち
に
命令
する
親機
だ

好きな
個体
を選
び

コード
から
ペア
リン
グを
行
いた
まえ



ふっ





ぬ：脱いだ
下着に
放尿しろっ



平然と...

公共の場で



もう一度彼女に
注視したまえ
見えるだろう？

片瀬くんの
命令が彼女に
伝わり至った
実行に

ほやあ...

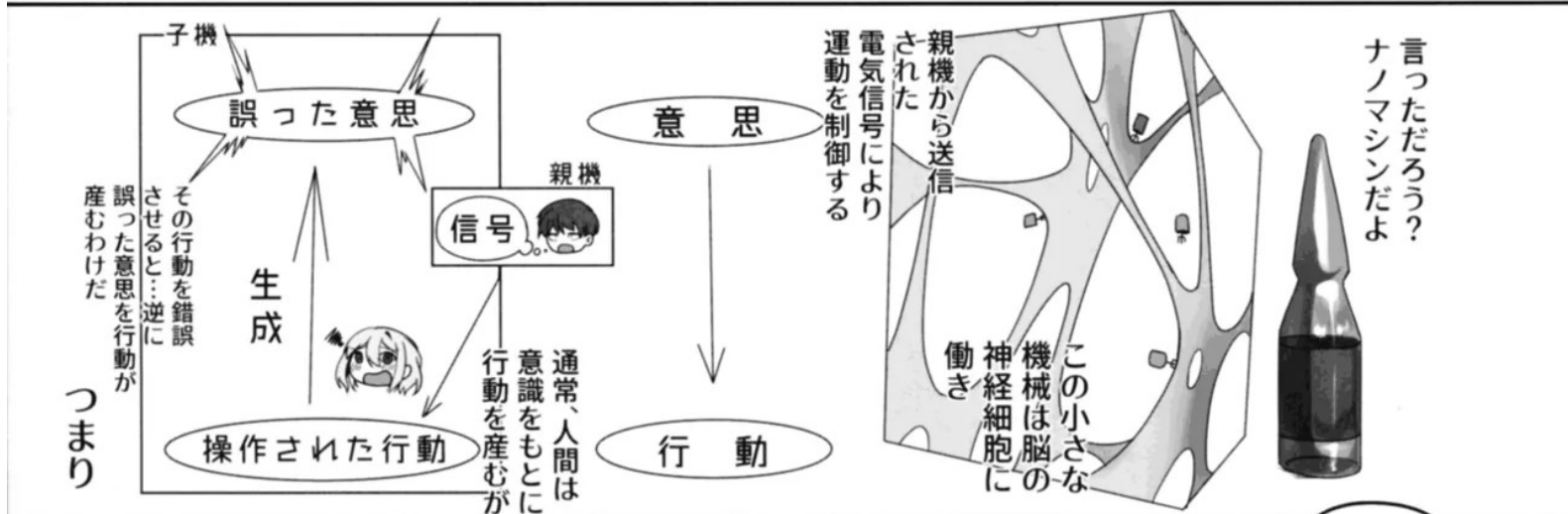
そのプロセスが
表示されている



本当に
頭の中で
念じた通りに

女の子が
動いた...!

それも...
こんな非常識な
命令なのに...







なんで服なんか
着ているの
かしら？



…あら？
私…



彼女もとくに
子機だよ…ゆえに
キミが見つめる
だけで



キミは今
わかっていても
妄想が止まらない

「このまま
裸になったら
どうなるんだ」
って

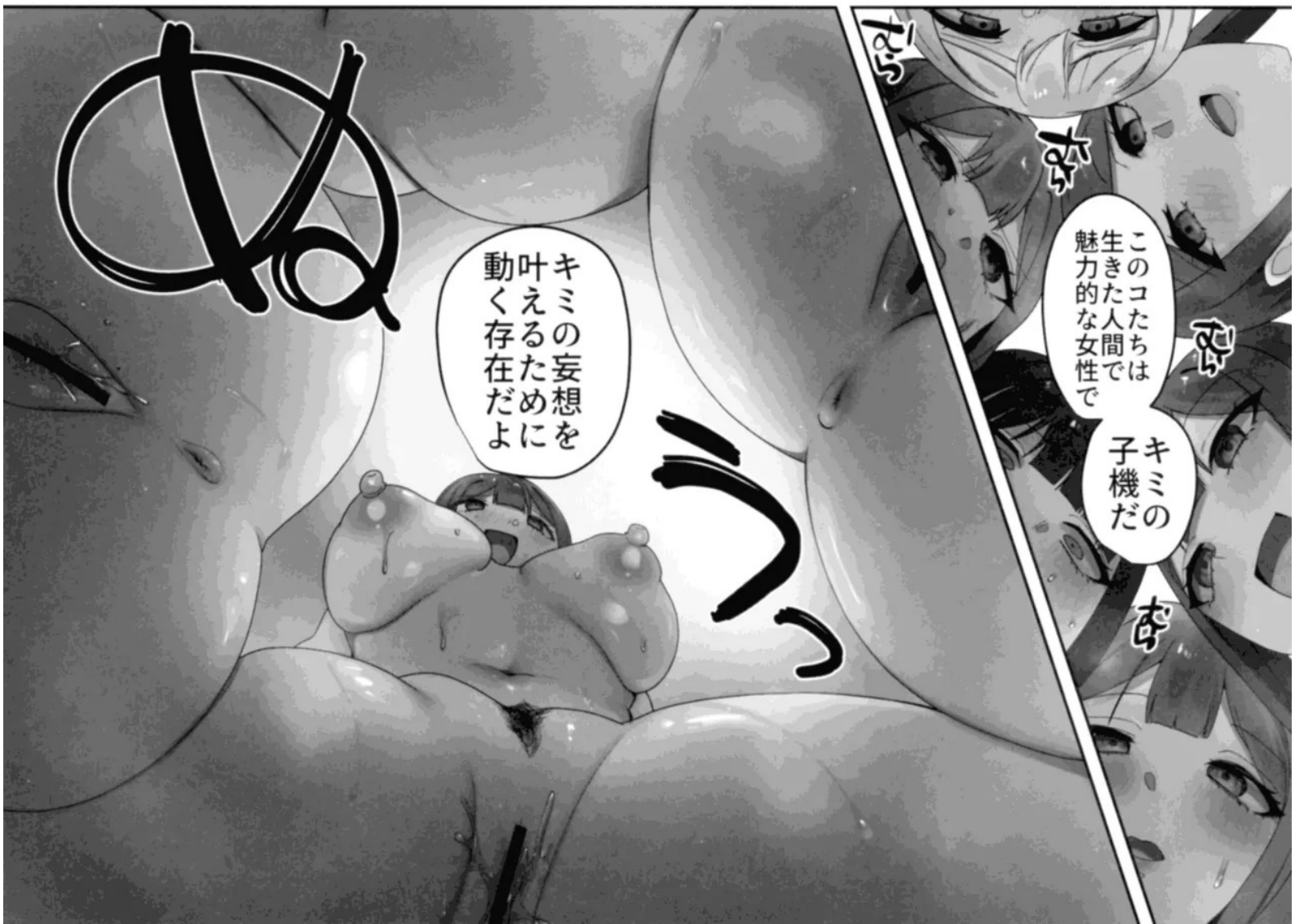
そして…
寝転がって

そのカラダを
使って…

妄想が実現
しているのだから
当然の話だ



一瞬だけ
頭を
よぎった…



キミの妄想を
叶えるために
動く存在だよ

このコたちは
生きた人間で
魅力的な女性で

キミの
子機だ







そもそも私は
研究倫理を無視した
人道にもとる研究を

行くような人間
だったかね？



よく考えれば
不可解では
ないか？



すごいカ…ッ

キィ…ッ

ペアリング
完了

先生を子機に
登録して
しまおうっ

私は…

私の意思で



まずい、
先生の胸を
見ると…



さあ、これで私は
キミの意思で
動く傀儡となった

これからは

キミの意思が
私の意思だ



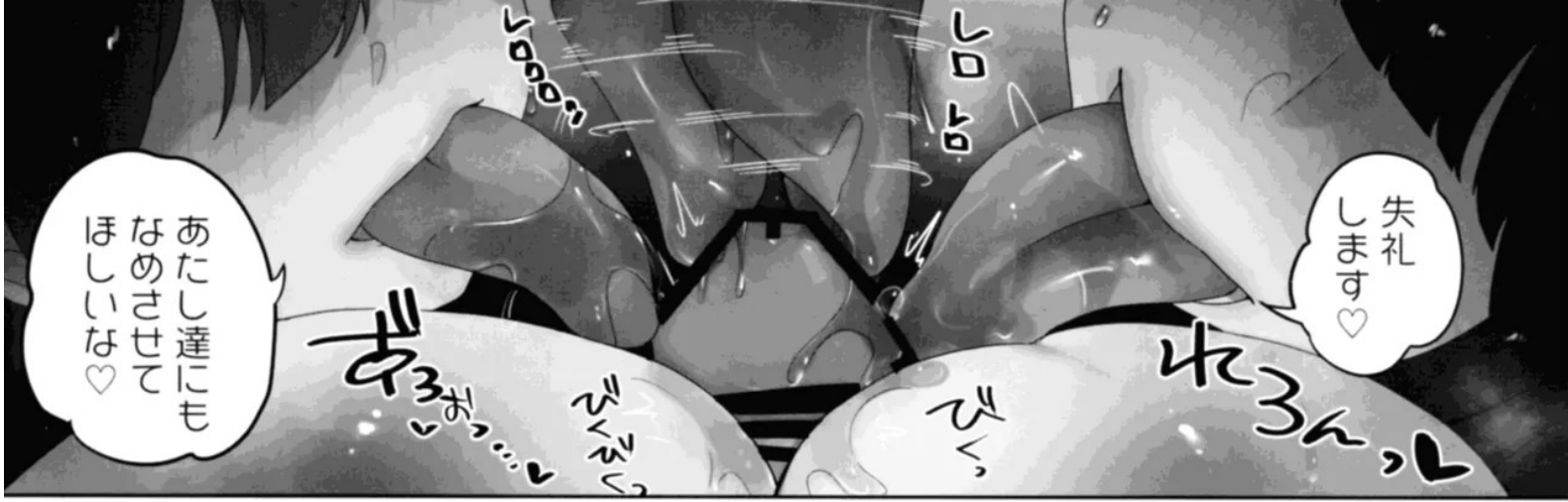
人の道を外れ
機械に制御
される存在
なのだよ

子供登録中

Now pairing...







失礼
します♡

あたし達にも
なめさせて
ほしいな♡



やっぱりっ…
この子たちもっ
俺の弱いところをっ
ふーっ
的確に…
本当に俺の意思が
伝わっているっ

うあっ
亀頭舐め
やばいっ

もう出るっ

射精まじっ





い…
いきますよっ

ああ…なんということだ
キミと繋がれたという
事実だけで…えっ♡

私の脳内は
快楽物質に
まみれているっ

あの先生が
こんな乱れた顔で
俺の上で腰振って
興奮するに
決まってる!!

キミはどうだ?
気持ちいいかねっ

先生っ
次はっ











す、すんません

あれだけ私を
乱れさせておいて
何を言う

親機との性交で
眠気が
吹っ飛んだよ
今はコーヒーよりも
キミのザーメンが
飲みたい

くちゅ
くちゅ
やっぱ夢じゃ
ないんだな...

先生が俺の精液を
おいしそうに
吸ってる...



コーヒー
どうぞ♡

...未だ
信じられん...
この状況は
現実なのか?



秘密裏に我々の
ナノマシンは
女性の身を
渡り歩いている

婦警にギャル
コスプレイヤー
海外セレブまで...

美しく
社会的地位も
ある彼女たちを

キミの命令通り
操って...好きに
蹂躪したくは
ないか?

そんな
もの...

言わずとも
伝わる
でしょうに



さて
誠也くん
親機のキミに
頼みたい

これは...
端末の
位置情報?
まさか...

そう...
ここに映る
全員が
ナノマシンを
投与されている



あとがき

これにちは、りむです。
今回で5回目のコミケ参加です。

先月にカラーマンガを出した関係で大変なスケジュールとなりましたが、
いっぱい女の子を操るシチュエーションを描けたのでとても満足しています。
どうしても作画コストが高くなってしまっているのですが
やっぱり集団MCが好きなので、今後もチャレンジしていきたいと思います。

今回は意識の生成プロセスに関するMCものですが
作中の設定は科学的考証などに基づいていないフィクションです。
裏表紙の論文もフィクションとしてお楽しみくださいませ。

今回のお話ですが、他の作品とつながるような続きも考えてありますので
よろしければご感想などお聞かせください。

当日こちらを手にとっていたいただいたすべての方、
ダウンロード版を購入くださった方、
手伝っていただいたみなさんに感謝を表明いたします。

ご注意

無断転載(特に、web上への許可なきアップロード)・無断複製・製作者の
許可なき転売を禁じます。
上記の行為に対しては、発見しだい速やかにしかるべき措置を取らせていただきます。
また、作品の性質上、公共の場でのご閲覧はお控えください。

WARNING

The following actions are prohibited:
-Unauthorized reproduction, duplication
-resale without the permission of the creator

The above actions will be dealt with as soon as they are discovered.
Due to the nature of this work, please refrain from viewing it in public places.

ナノマシン投与による端末化女性個体群への
操作可能性に関する諸考察

発行日 2025年8月17日

著者 りむ
発行 R. S. I. 日本支部

連絡先: close.rim.open@gmail.com
Twitter(X)ID: @close_rim_open
Pixiv <https://www.pixiv.net/users/64720483>

印刷所: ねこのしっぽ

X ↓



Pixiv ↓

